

—「レスキュー工学」の確立を目指す—

For the Establishment of “Rescue Engineering”

目的

「レスキュー工学」という分野を新たに創設し、計測自動制御学会に関連した学術的立場から緊急対応問題への貢献を行う。

背景

世界各地で頻発している災害に対して適切な緊急対応を行い、被害を軽減し、人命を救うという問題について計測自動制御学会の関連する技術は様々な点から貢献することができると考えられる。しかし、これまではそのような問題を専門に扱い議論する場がなく、研究も十分に行われてこなかった。

方法

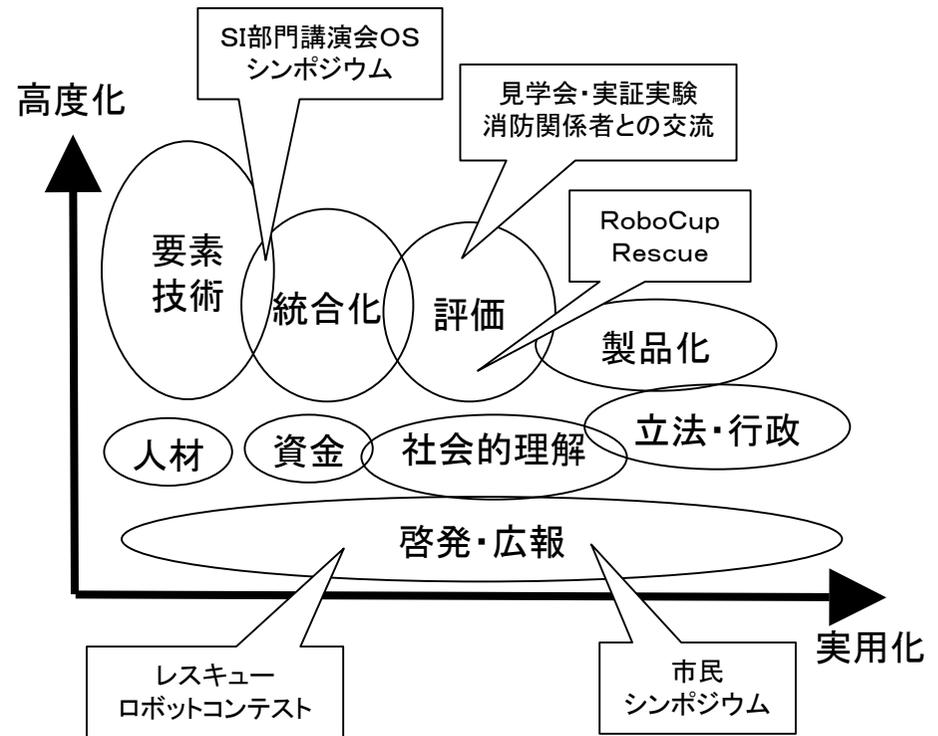
「レスキュー工学」の分野へ参入する研究者を増やし、様々な問題を議論する機会や場を提供する。実証実験や実際に資機材を利用する関係者との交流が重要である。また、一般市民への啓発や青少年の育成の活動を支援も行う。

活動実績・予定

- レスキュー工学に関するシンポジウムや見学会の主催および共催
- SI部門講演会におけるオーガナイズドセッションの設置
- 文科省 大大特プロジェクトとの協働(2002～2006)
- RoboCup Rescueの共催と学会賞の設置 (2002～)
- レスキューロボットコンテストの共催と学会賞の設置 (2002～)

主査: 大阪電気通信大学 升谷 保博
(masutani@isc.osakac.ac.jp)

メンバー: 中西 弘明, 塚越 秀行, 浅間 一, 天野 久徳, 新井 健生, 伊藤 一之, 大須賀 公一, 大坪 義一, 小野里 雅彦, 亀川 哲志, 神成 淳司, 木村 哲也, 桑田 喜隆, 田所 諭, 登尾 啓史, 畑山 満則, 増田 良介, 松野 文俊, 横小路 泰義



レスキューシステムの実用化を取り巻く状況